

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 7 年 4 月 26 日

団体所在地 広島市西区福島町2-24-15
団体の名称 社会福祉法人みどり会
職・氏名 理事長 柳瀬 昌夫
(施設名 みどりの森おひさまこども園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)
○土・砂・水・泥遊び
○春の自然散策散歩
○自然物を使った色水遊び・押し花
○ヤマモモのジャム作り
○畑づくり
○ヨモギ、しょうぶ湯
○バケツ稲、野菜の苗植え、栽培

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)
○竹採取
○竹の性質を知り、そうめん流しの竹づくり
○川の生き物に触れる
○滝遊び
○自然物を使った染め遊び

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)
○さつまいもの収穫・焼き芋・つるで遊ぶ
○秋の川周辺の自然遊び
○米の収穫
○畑づくり・玉ねぎの苗植え
○干し柿作り
○自然物を使ったリース・ツリー作り
○しめ縄・しめ飾り作り

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)
○シイタケの菌打ち・収穫・クッキング体験
○柚子湯・柚子ジャム作り
○木材に色付け
○収穫した米を使ったおにぎり作り
○冬の自然に触れる(氷作り・氷遊び・雪遊び)
○山登り(武田山)

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

「春の自然散策散歩」

- ・アカメガシワの葉っぱでお面を作り「ばー！！」とお互い見せ合っている。
- ・アカメガシワの葉っぱは、染め遊びや、釣り遊び、飛行機とばしなど様々な遊びができることをアドバイザーの方から教えてもらい、友だちや保護者と一緒にそれぞれ試している。
- ・他にも、枝の皮をむいて匂い、「くさい！」「スイカの匂いがする！」と発見を伝え合う。
- ・河川敷のツルを使って、冠やリース作り楽しむ。
- ・カタバミの葉っぱで10円玉をみがくと、「ピカピカになった！」と驚いていた。
- ・保護者や保育者自身も知らない遊び方がたくさんあり、子どもたちと一緒に楽しんでいた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

「なんか見つけたよ！」

- ・初めての川遊びに少し緊張気味でしばらく様子を見ている子どももいたが、アドバイザーの方や、友だちが「草の奥の方をガサガサしたら、なにかいたよ！」と発見を伝えると、「え！？みせて！」「私もみつきたい！」と網をガサガサしながらすくってみます。アドバイザーの方に『草の根本のところをガザガザすると、生き物が取れるかも！』と聞き網ですくってみると、赤い根っこを発見。どんな生き物がいるかな？もっと探してみたい！と何度も挑戦し見つけたものや発見を友だちや、保育者、アドバイザーに伝え、「なんの生き物か調べてみよう！」と川の生き物や自然に興味が高まっていた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

「どんぐり!」「うめる!」「いっぱい!」

・散歩で拾ったどんぐりから芽がでてきて、部屋で観察をしていた。ある日「どんぐりころちゃん」の絵本を読んでいると、葉っぱのお布団をかけて眠る場面を見て、部屋のどんぐりも土に埋めてみるようになった。

・『1個ずつね』じっくり埋める1個を自分で選び、「ぱんぱん」「どんぐり、ねてる～」「おおきくなあれ～」と埋めた後、何度も水を運んでいた。

・絵本や、サツマイモを掘った体験が「育てる」に結びつき、保育者も“自分たちのどんぐり”がどうなっていくのか、自然を五感で感じながら、子どもたちと一緒にどんぐりの観察を楽しんでいた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

「雪のプレゼント!」

・近隣の町内会や、企業のご厚意で吉和からたくさんの雪が運ばれてきた。

・何度もトラックの荷台から滑り落ちてくる雪に「きゃあ～!」と嬉しそうな表情で見つめていた。そっと雪に触れ、「冷たい」「ふわふわ」と感触を味わう子、雪だるまを作る子、雪合戦をする子と思い思いに雪を楽しんでいた。

・そり遊びは初めての子が多く、そりに乗ることも難しそうだったが乗り方が分かると、友だちに背中を押してもらったりと速度や滑る感覚を楽しんだりしていた。雪がなめらかなところを探したり、高さを見つけたりと遊びの中で探求しながら楽しんでいた。

・保育者も滅多にない機会を子どもたちと経験し、余韻を会話や写真などを通して楽しんでいた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

○ 職員の資質向上について

- ・ アドバイザーの方との散歩を通して、葉っぱや草花の遊び方を知る。川の生き物の探し方、図鑑などを教えてもらい保育の実践に活かす。川や、滝など下見のポイントを教えてもらい、自然遊びの知識を深める。（5月、8月、9月）
- ・ ヨモギ・しょうぶ湯、門松づくりなど行事を通して、由来を知り、伝承するために知識を深める。（年間を通して季節ごと）
- ・ むぎの穂保育園の視察。（3月）

○ 地域との関わりについて

- ・ 農協の方に、畑の作り方、苗の植え方を教えて頂く。
バケツ稲の育て方についてアドバイスをもらい、育成過程をメールで知らせ、肥料や水抜きのタイミングを教えて頂く。
- ・ 地域の方（平成のはなさかじいさん）にパンジーの植え方を学ぶ。
- ・ 焼き芋会に使用する落ち葉集めに協力してくださり、サツマイモの差し入れや焼き芋の準備の仕方についてアドバイスをもらう。
- ・ 地域の方に木に色の付け方を学ぶ。
しいたけの原木に菌を植える、菌打ち体験をさせてもらう。

○ 保護者との関わりについて

- ・ クラスで植えた野菜の成長を親子で観察。
- ・ 染物に使う、ブドウや玉ねぎの皮などの協力。
- ・ 保護者の方に頂いた、柿で干し柿作り。
柚子で柚子ジャム作り。
- ・ 石臼を使った餅つきに参加し、こどもたちと餅つきを楽しむ。
- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--